問 小畠バイパスの進捗状況は

片山元八郎議員

答 1.2km 区間の用地測量を計画

Q 小畠バイパスの第二工区とされた区間の今年度予算はいくらか。

A 町長
今年度は、2期分1，200メートル区間の変更事業説明会と用地測量を計画。予算は2，000万円である。

Q 地権者に対する説明会はいつごろ開催予定か。

A 町長
変更事業説明会を8月下旬、用地測量を農作物の取り入れが終了した後に行う予定。

Q かつて第一工区とされた中断区間への取り組み状況は。

A 町長
1期分の一部地権者の了解が得られていないことから、まずは2期分の関係者の方々の了解をいただくことを、県と連携を図りながら優先的に推進する。

Q 県は全線開通年度をいつごろに設定しているか。

A 町長
明確に、何年度開通とは示されていない。今後とも、早期の完成を県に要望していく。

小畠バイパス

問 源流の里の再生は

松本彰夫議員

答 さらなる対策を検討

Q 「源流の里」の再生に取り組んでいるが、その成果は。

A 町長
集落毎に課題も様々で、深いところでの実態が明らかになった。
維持・再生については、単独集落での取り組みは難しいのが現実だ。

Q 具体的な再生は。

A 町長
再生の困難な集落については、生活保障につながる部分は、町が守る責任がある。福祉施策による対応が必要。
再生可能な地域は、地域再生事業など活用し、取り組みたい。

Q トマトの栽培農家、面積が減少している。
トマト団地を造成し、全国から栽培農家を募り、国の産地指定の基準である、15haを目標に取り組むべきでは。
本町の既存の補助制度を組み合わせば、新規就農者も取り組める。定住対策につながる農業振興が必要ではないか。

A 町長
団地の造成に向け現在、調査を進めている。県の補助事業である「未来創造支援事業」の取り組みを考えている。

楽しい水あそび　ゆき保育所

Q 次世代を担う子どもたちが、町政に対する意見や質問を行う事により、社会や、地域、政治などに関心を持ち、若い町民としての自覚を促すことを目的に子ども議会を開催してはどうか。

A 町長
良い提案と思うが、関係部署と協議したい。

A 教育長
学校現場と協議して検討したい。

問 ブライダルセンター構想などの進捗状況は

横尾正文議員

答 常勤のセンター長を配置

Q ブライダルセンター構想及び徴収業務の強化の進捗状況は。

A 町長
ブライダルセンター構想は正副センター長を配置する。また関係団体と構成する推進会議を設置し、三つの事業を行う。
徴収業務については、嘱託職員による未納者リストの作成などの業務をさせている。

A 理事
ブライダルセンター構想については、この議会が終わり次第実行に移したい。

Q 産直市場の中で、かなりの損失を出している公社があるが、販売方法に問題はないか。また この損失は「誰が」「どう」責任をとるのか。

A 町長
500万円余りの損失がでている。原因としては、近くのスーパーでの安売りと店舗前での長期工事により店舗販売が20％ダウンしたため。また人件費の増。
改善策は、店長を始めとした従業員の意識改革。またイベントによる売上増と賞与の引下げが必要。

油木百彩館市場

Q その他に店外出店の一回あたり売上が対前年比8％ダウンしていることにも問題があるのでは。また体質改善の時期では。

A 副町長
基本的な議論をし、経営検討委員会にかける。

Q 家畜の伝染病の口蹄疫対策として町独自のマニュアルが必要では。

A 町長
悪性伝染病防疫対策マニュアルを作成して対応している。

Q マニュアルに沿った初動対策の訓練などは出来ないのか。

A 課長
初動対策で出来ることはやっていく。

問 新エネルギー導入への取り組みは

橋本輝久議員

答 仁吾川、小水力発電所整備など調査

Q 公共施設及び小水力発電設備などへの新エネルギー導入の計画は。

A 町長
今年度、公共施設へのバイオマスボイラー及び仁吾川、小水力発電所整備について、調査を行う。各関係機関とタイアップし、実現できるよう取り組みたい。

Q エコなまちづくりを、もっと推進すべきでは。

A 町長
町民・事業者・行政と3者が一体となり、地球環境の保全と環境問題の住民意識の高揚を図っていく。環境にやさしい町づくりを推進する。

Q 豊松小学校の耐震補強整備のスケジュールは。

A 教育長
6月補正で調査設計費と整備工事費を上程している。可決されれば早急に発注する。夏休み期間中に工事着手する予定だ。また、夏休み後も工事が予想されるので、授業に影響を与えないよう内部工事から始めたい。

Q 身近に感じるケーブルテレビとして、地域のイベントや、学校行事、ニュースなどの、自主放送の基本的な計画は。

A 町長
基本的には、運営会社が行っている内容の一部に町独自の番組を制作し、データーや文字放送を行う予定だ。

玉入れ（豊松地区）